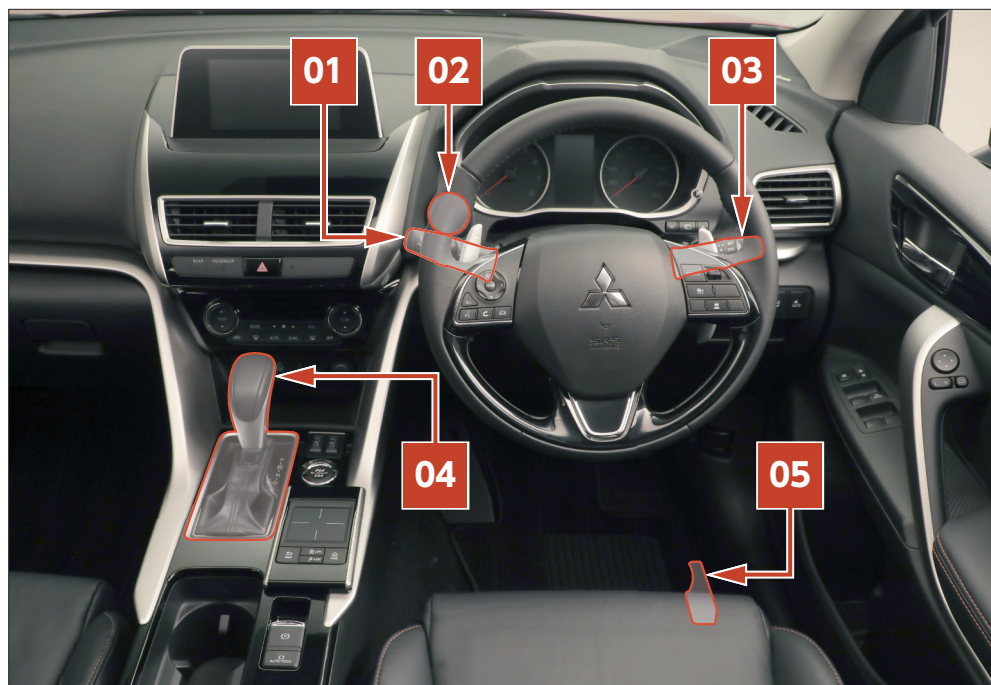
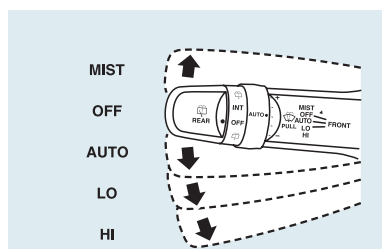




01 ワイパー/ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチの電源モードが ON または ACC のときに使用できます。
レバーおよびツマミを操作すると次の通り作動します。

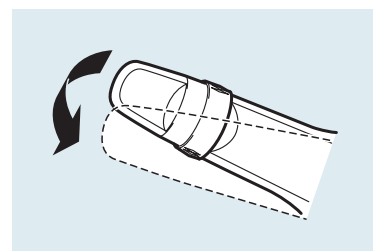


フロントワイパー

- ▶ MIST : 霧雨のときなど1回作動させるとき
(ワイパーミスト機能)
- ▶ OFF : 停止
- ▶ AUTO: 自動作動 (雨滴感応)
雨の程度に応じて、自動的にワイパーが作動
- ▶ LO : 低速作動
- ▶ HI : 高速作動

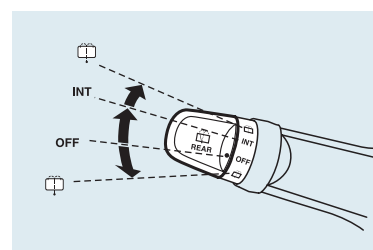
フロントウォッシャー

レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液を噴射し、同時にワイパーが数回作動



リアワイパー&ウォッシャー

- ▶ INT : 間欠作動
数回作動し、その後約8秒おきに作動
- ▶ OFF : 停止
- ▶ 〇 : ウォッシャー液を噴射し、同時にワイパーが数回作動



02 エンジンスイッチ

エンジンスイッチはキーレスオペレーションキーが車内の作動範囲にあるときに操作できます。

エンジンを始動したいとき

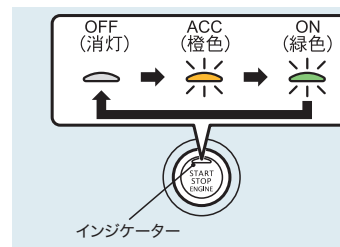
セレクトーレバーをPに入れてブレーキペダルを右足でしっかり踏み、エンジンスイッチを押します。

エンジンを停止したいとき

安全な場所に停車し、ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを確実にかけます。
セレクトーレバーをPに入れてから、エンジンスイッチを押します。

電源モードのみ切り換えたいとき

エンジンが始動しているときは、エンジンを停止します。
ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押します。スイッチを押すごとに電源モードが OFF → ACC → ON → OFF の順に切り換わります。

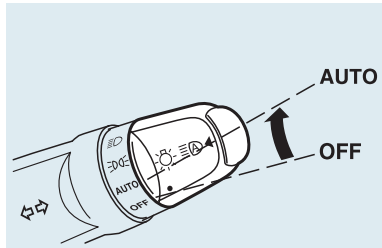


電源モードの状態は、スイッチ内のインジケーターの色で確認します。

- ▶ OFF : 消灯
- ▶ ACC : 橙色に点灯
- ▶ ON : 緑色に点灯
- ▶ エンジンがかかっているとき : 消灯

※ エンジンスイッチによる操作ができない場合、キーレスオペレーションキーが作動範囲内でも検知されにくい場所にあるか、キーレスオペレーションキーの電池切れなどが考えられます。

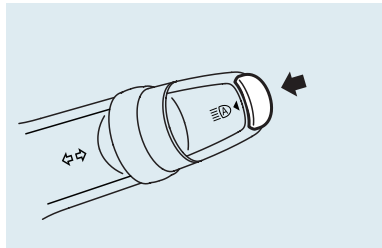
03 ライトスイッチ



オートライトコントロール

走行中または停車中に、ツマミを AUTO の位置にすると、車外の明るさに応じてヘッドライトや車幅灯などの車外照明が自動的に点灯・消灯します。

エンジンスイッチの電源モードを OFF にすると自動的に消灯します。



オートマチックハイビーム [AHB]

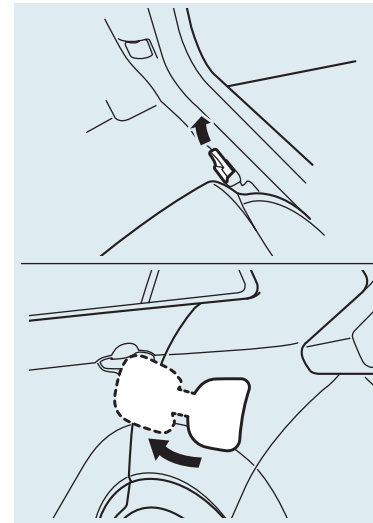
AHB スイッチを押してシステムを ON にすると、センサーにより先行車または対向車のランプや街路灯などの明るさを検知して、ヘッドライトが上向き（ハイビーム）のときに下向き（ロービーム）への切り換えや、上向き（ハイビーム）への復帰を自動的に行います。

本書の27ページも併せてお読みください。

04 セレクターレバー

- P（パーキング）： 駐車およびエンジンを始動、停止するとき
- R（リバース）： 後退させるとき
- N（ニュートラル）： エンジンの動力が伝達されません
- D（ドライブ）： 通常の走行時

05 燃料の給油



フューエルリッド（燃料補給口）

車両の左側後方にあります。開けるときは運転席右下のレバーを引き上げます。

ガソリン車

レギュラーガソリンを使用してください。
（軽油は使用できません）

ディーゼル車

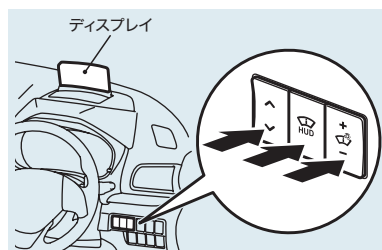
軽油を使用してください。
（ガソリンは使用できません）

- ・ 給油操作は必ず一人で行い、補給口に他の人を近づけないでください。給油が終わるまで補給口から離れないでください。
- ・ フューエルキャップはゆっくり開け、補給口に給油ノズルを確実に差し込みます。
- ・ 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。つぎ足しをすると燃料があふれ出るおそれがあります。

※ 給油前に必ずガソリンスタンドに掲示の注意事項を確認し、指示に従ってください。

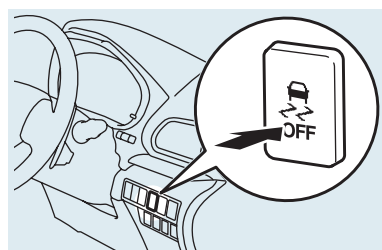


06 ヘッドアップディスプレイ [HUD] スイッチ



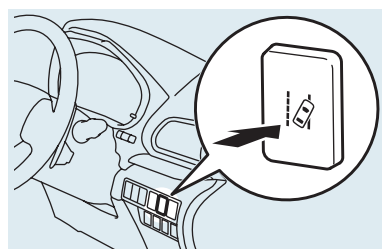
ディスプレイの展開・格納、角度調整、照度調整、またはナビゲーション情報の表示／非表示の切り換えができます。
本書の21、22ページも併せてお読みください。

07 アクティブスタビリティコントロール [ASC]OFF スイッチ



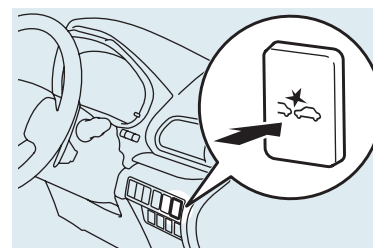
ASC を OFF にしたいときは ASC OFF スイッチを3秒以上押し続けます。ASC を OFF にすると、メーター内の ASC OFF 表示灯が点灯します。もう一度押すと ON になります。

08 車線逸脱警報システム [LDW] スイッチ



スイッチを押すとシステム OFF の状態になります。もう一度押すと再びシステム ON の状態になります。
本書の25ページも併せてお読みください。

09 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] / 誤発進抑制機能 ON/OFF スイッチ



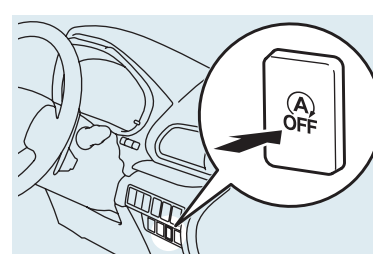
スイッチを押し続けると、FCM / 誤発進抑制機能の ON/OFF 状態を切り換えることができます。システムが ON のときに短く押すと、FCM の衝突警報タイミングが切り換わります。
本書の23、24、28ページも併せてお読みください。

10 パーキングセンサー（フロント／リヤ）スイッチ



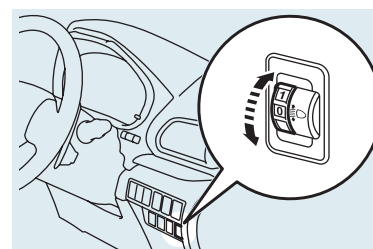
スイッチを押すとシステム OFF の状態になり、スイッチ内の表示灯が消灯します。もう一度押すと再びシステム ON の状態になり、スイッチ内の表示灯が点灯します。
本書の33ページも併せてお読みください。

11 オートストップ&ゴー [AS&G]OFF スイッチ



スイッチを押すとメーター内に (A) OFF 表示が点灯して、AS&G が非作動状態になります。もう一度押すと、表示が消灯して、AS&G が再度起動します。
本書の16ページも併せてお読みください。

12 ヘッドライトレベリングダイヤル

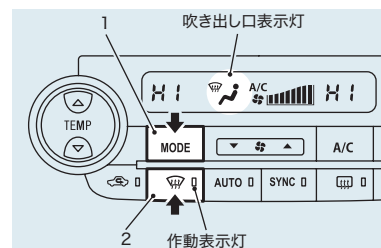


乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて、ヘッドライトの照らす方向（光軸）をダイヤルを回して調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。



01 エアコン・ヒーター

吹き出し口の調整

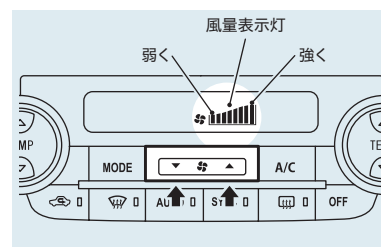


MODE スイッチ (1) またはデフロスタースイッチ (2) を押します。

設定した吹き出し口が表示されます。

デフロスタースイッチを ON にすると、作動表示灯が点灯します。

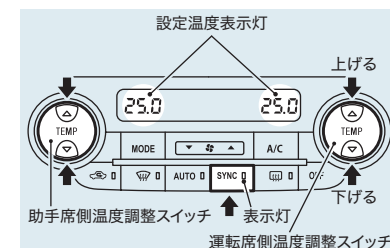
風量調整



風量調整スイッチを押します。

設定した風量が表示されます。

温度調整

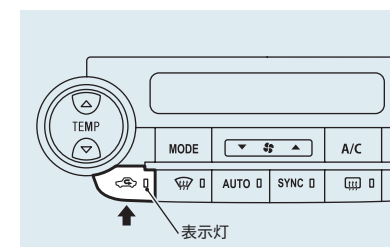


温度調整スイッチを押します。

SYNC スイッチを押すと、表示灯が点灯して、助手席側の設定温度が運転席側と同じになります。

助手席側温度調整スイッチ、またはもう一度 SYNC スイッチを押すと、表示灯が消灯して、運転席側と助手席側の温度を独立して設定できます。

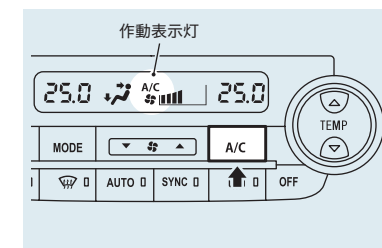
内外気切り換え



内外気切り換えスイッチを押します。

内気循環のときは表示灯が点灯します。

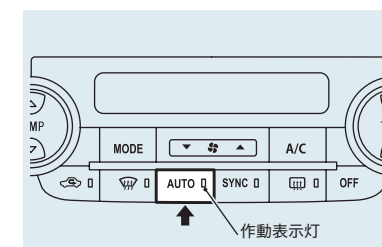
エアコンの作動と停止



A/C スイッチを押します。

エアコン作動中は作動表示灯が点灯します。

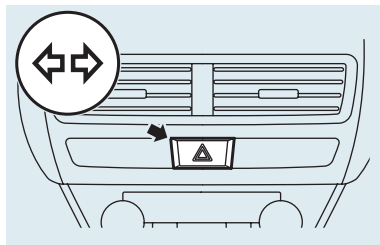
自動で使う



AUTO スイッチを押します。

AUTO 作動中は作動表示灯が点灯します。

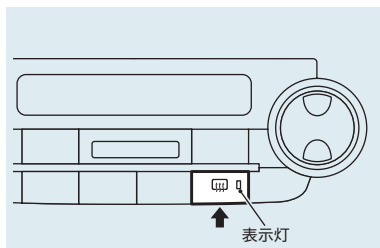
02 非常点滅灯スイッチ



故障したときなど、やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。

スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し、メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。

03 リヤデフォグスイッチ

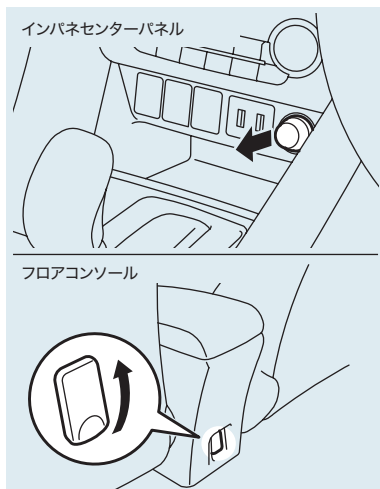


リヤガラスを暖めて曇りを取ることができます。

エンジンがかかっているときにスイッチを押すと作動し、表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押す、または約15～20分経つと自動的にスイッチが切れます。

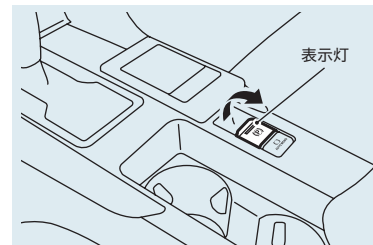
04 アクセサリーソケット (DC12V)



エンジンスイッチの電源モードが ON または ACC の状態のときに使用できます。プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。

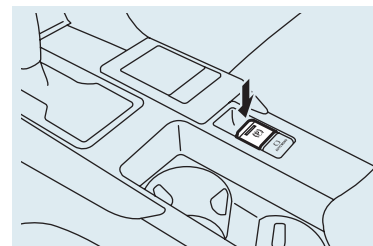
必ず、12V で消費電力が120W 以下の電気製品を使用してください。

05 電動パーキングブレーキスイッチ



パーキングブレーキをかけるとき、または解除するときに使用します。

かけるときは、ブレーキペダルを踏んだままスイッチを引き上げます。メーター内のブレーキ警告灯とスイッチ内の表示灯が点灯します。



解除するときは、電源モードが ON のときに、ブレーキペダルを踏んだままスイッチを押します。メーター内のブレーキ警告灯とスイッチ内の表示灯が消灯します。

06 ブレーキオートホールドスイッチ

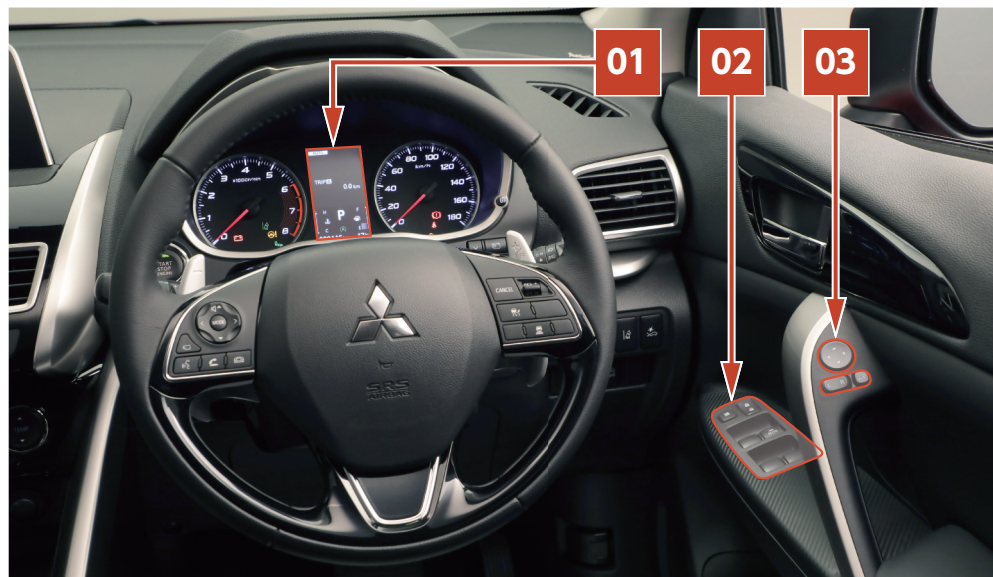


次の条件がそろったときにスイッチを押すと、システムがスタンバイ状態に切り換わり、スイッチ内の表示灯が点灯します。

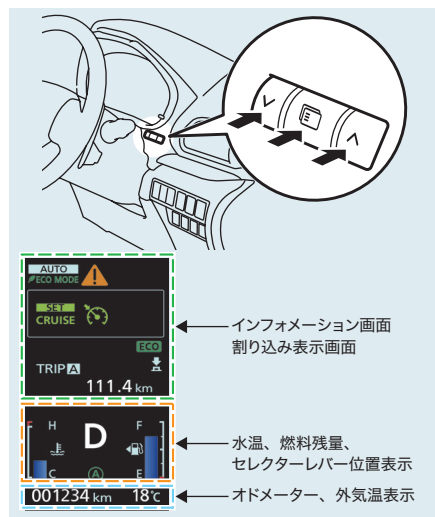
- ・ エンジンスイッチの電源モードが ON のとき
- ・ 運転席のシートベルトを着用しているとき
- ・ 運転席ドアが閉じているとき

セクターレバーがPまたはR以外の位置にあるときに、ブレーキペダルを踏んで停車すると、メーター内のブレーキオートホールド作動表示灯が点灯して、自動でブレーキがかかった状態を保持します。

ブレーキ保持中にアクセルペダルを踏み込むと、ブレーキは自動で解除されます。

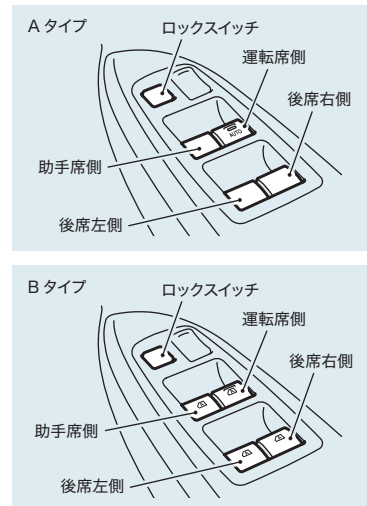


01 マルチインフォメーションディスプレイ



マルチインフォメーションディスプレイスイッチを操作するたびに音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイの各種警告、サービスリマインダー、平均・瞬間燃費、平均車速などの表示を切り換えることができます。

02 パワーウィンドウ



運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。スイッチを押すと開き、引き上げると閉まります。スイッチを強く押し下げる、強く引き上げると自動的に全開、全閉します。

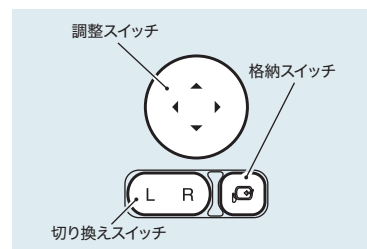
仕様の違いにより、自動操作が可能なドアガラスは異なります。

・Aタイプ：運転席ドアガラスのみ

・Bタイプ：全席ドアガラス

ロックスイッチをONにすると助手席、後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。OFFにするときはもう一度押します。

03 電動リモコンドアミラー



角度調整

切り換えスイッチの調整したい側を押した後、調整スイッチを押して、上下左右にミラーを動かします。

L：左側ミラーの調整

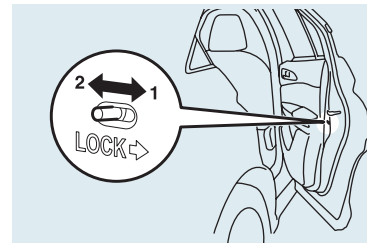
R：右側ミラーの調整

格納スイッチ

スイッチを押すと、ドアミラーが格納されます。

もう一度押すと元の位置に戻ります。

》チャイルドプルーフ



レバーを施錠側 (1) にしてドアを閉めると、ドアのロックノブの位置に関係なく、車内からは後席のドアが開けられなくなります。

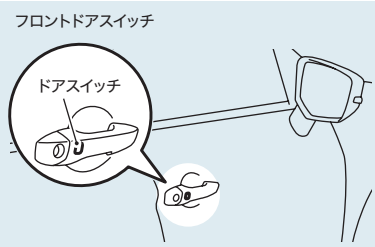
安全上、お子さまを乗せるときにご使用ください。

使用しない場合は、レバーを解錠側 (2) にしてください。

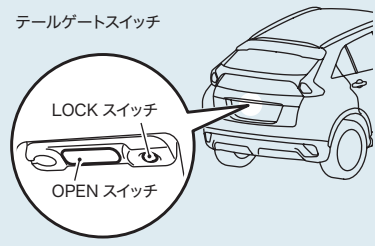
キーレスオペレーション機能またはキーレスエントリーシステムによるドアの

施錠・解錠

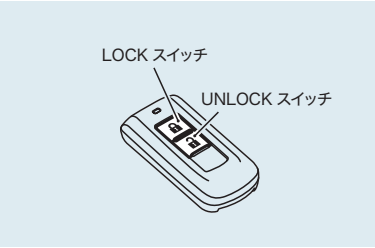
キーレスオペレーション機能



キーレスオペレーションキーを携帯してドアスイッチまたはテールゲートスイッチを押すと、ドアおよびテールゲートの施錠・解錠をすることができます。



キーレスエントリーシステム



LOCK スイッチを押すとドアおよびテールゲートが施錠し、UNLOCK スイッチを押すと解錠します。解錠後、約30秒以内にドアまたはテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

施錠・解錠時の確認

作動確認機能 ^{*1}	初期設定（工場出荷時）	
	施錠時	解錠時
非常点滅灯	1回点滅	2回点滅
ルームランプ	—	約15秒間点灯
車外ブザー ^{*2}	1回吹鳴	2回吹鳴

上記の通り作動を確認することができます。

ルームランプはスイッチが中間（○ / ●）の位置にあるときに点灯します。

^{*1}：設定を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

^{*2}：キーレスオペレーション機能を使用したとき

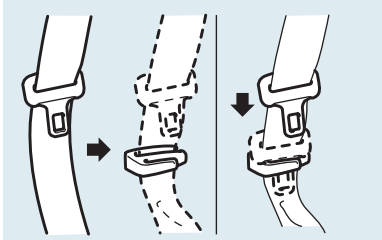
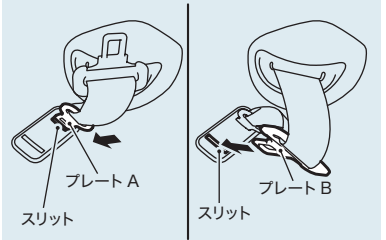
リヤシートを折りたたんで荷室を作ることで、大きな荷物などを積むことができます。

リヤシートの折りたたみ

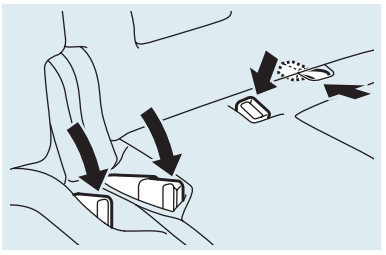
- 1 ヘッドレストを一番下の位置まで下げます。
- 2 シートベルトを格納します。

▶中央席のシートベルトは、プレート A を上側のスリットへ、プレート B を下側のスリットへ差し込みます。

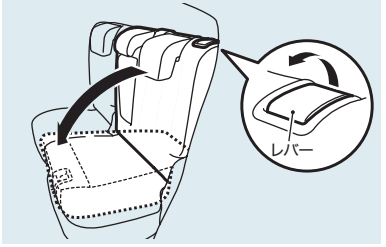
▶左右席のシートベルトは、ホルダーの後ろ側の切り込みにベルト部を通した後、前側の切り込みにプレートを差し込みます。



- 3 バックルを格納します。



- 4 シートを一番後ろの位置に調整します。
- 5 レバーを引き上げて、背もたれを前に倒します。



- 6 戻すときは、背もたれを確実に固定するまで起こします。背もたれを戻した後は背もたれを軽くゆすり、確実に固定されていることを確認します。

ECO ランプ

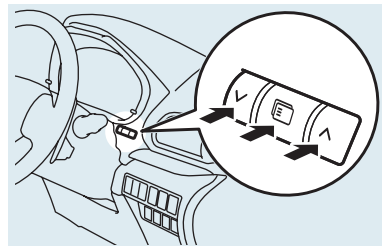


燃費が良い運転状態のときに表示されます。

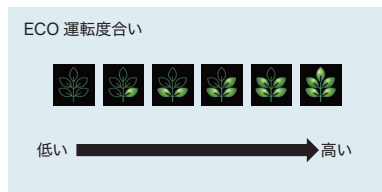
ECO ドライブアシスト



走行状態に応じて燃費の良い運転度合いを表示します。
走行速度に合ったアクセルペダルの操作で ECO 運転をしていると、ECO ドライブアシストが図のように変化します。
表示させるには、マルチインフォメーションディスプレイスイッチを押します。

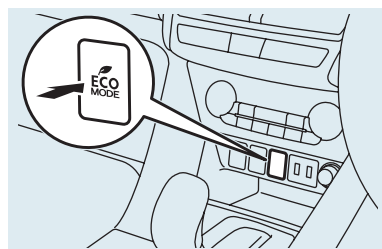


ECO スコア



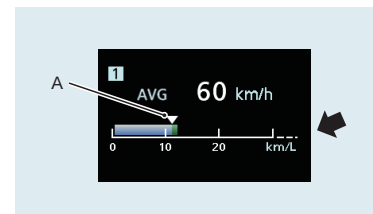
ECO 運転の度合いをリーフの枚数で表示します。
表示させるには、マルチインフォメーションディスプレイスイッチを押します。

ECO モードスイッチ



ECO モードは、エンジンおよびエアコンを自動制御することで、燃費向上に配慮したエコドライブをサポートするシステムです。
エンジンスイッチの電源モードが ON のときに、ECO モードスイッチを押すと ECO モードが作動します。
もう一度スイッチを押すと ECO モードが停止します。
ECO モード作動中、メーター内に ECO モード表示（表示灯）が表示されます。

瞬間燃費表示



走行中、バーグラフで瞬間燃費を表示します。
瞬間燃費計にある ▼ マーク (A) は、平均燃費を表します。
平均燃費より瞬間燃費が上回ると瞬間燃費のバーグラフは緑色で表示されます。
瞬間燃費が平均燃費を上回るように意識することで燃費の良い運転を心がけることができます。
表示させるには、マルチインフォメーションディスプレイスイッチを押します。

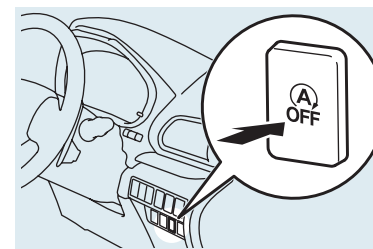
オートストップ&ゴー [AS&G]

オートストップ&ゴー [AS&G] は、信号待ちや渋滞などで停車する際に、エンジンスイッチを使用することなく自動的にエンジンを停止および再始動して、排気ガスの排出を削減するとともに燃費効率を向上させます。(アイドリングストップ機能)
AS&G は、エンジンスイッチの電源モードを ON にすると自動的に起動します。
AS&G が作動可能な状態であるときは、メーター内に (A) 表示が点灯して運転者に知らせます。

エンジンを自動で停止させるには

走行中にブレーキペダルを踏み込んで、完全に停車すると、エンジンが自動的に停止します。

エンジンを自動で再始動させるには



ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが自動的に再始動します。
AS&G を非作動にするには AS&G OFF スwitchを押します。
非作動にすると、メーター内に (A) OFF 表示が点灯します。

- 警告灯が点灯または点滅し続けたときは、取扱説明書 4 章「運転するときは」の「表示灯・警告灯一覧」を確認のうえ、三菱自動車販売会社にご相談ください。



充電警告灯

充電系統に異常があると点灯します。



衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] / 誤発進抑制機能 OFF 表示灯

FCM を OFF にしたときに点灯します。



尿素 SCR システム警告灯 (ディーゼル車)

尿素水 (AdBlue®) の残量不足や尿素 SCR システムに異常があると点灯または点滅します。

AdBlue® はドイツ自動車工業会 (VDA) の登録商標です。



車線逸脱警報システム [LDW] 表示灯

LDW が ON のときに点灯します。



グロー (予熱) スタート表示灯 (ディーゼル車)

エンジンスイッチの電源モードを ON にすると点灯し、グロープラグの予熱が完了すると消灯します。



電動パワーステアリング [EPS] 警告灯

EPS に異常があると点灯します。



後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] 表示灯

BSW が ON のときに点灯します。



車幅灯表示灯

車幅灯を点灯させると点灯します。



フロントフォグランプ表示灯

フロントフォグランプを点灯させると点灯します。



ヘッドライト上向き表示灯

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。



方向指示表示灯 / 非常点滅表示灯

次の場合に点滅します。

- ・ 方向指示レバーを操作したとき
- ・ 非常点滅スイッチを押したとき
- ・ 走行中に急ブレーキを踏んで、自動的に非常点滅灯が作動したとき



オートマチックハイビーム [AHB] 表示灯

AHB が ON のとき点灯します。



LED ヘッドライト警告灯

LED ヘッドライトに異常があると点灯します。



電動パーキングブレーキ警告灯

電動パーキングブレーキに異常があると点灯します。



アクティブスタビリティコントロール [ASC] OFF 表示灯

ASC を OFF にしたときに点灯します。また、ASC に異常があると、ASC 作動表示灯と同時に点灯します。



アクティブスタビリティコントロール [ASC] 作動表示灯

ASC が作動すると点滅します。また、ASC に異常があると、ASC OFF 表示灯と同時に点灯します。



ABS 警告灯

ABS のシステムに異常があると点灯します。



エンジン警告灯

エンジン制御システム、尿素 SCR システム (ディーゼル車)、A/T 制御システム (ディーゼル車) または CVT 制御システム (ガソリン車) に異常があると点灯または点滅します。



ブレーキ警告灯

次の場合に点灯します。

- ・ パーキングブレーキをかけたままのとき
- ・ ブレーキ液が不足しているとき
- ・ ブレーキシステムに異常があるとき



SRS エアバッグ / プリテンショナー機構警告灯

SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構のシステムに異常があると点灯します。



シートベルト非着用警告灯

運転者がシートベルトを着用していないと点灯または点滅します。



ブレーキオートホールド作動表示灯

ブレーキオートホールドシステムによりブレーキがかかった状態のときに点灯します。

※メーター画像はディーゼル車のものです

- インフォメーション画面に警告が表示されたときは、取扱説明書 4 章「運転するときは」の「警告表示一覧」を確認のうえ、適切な処置を行ってください。以下の表示は代表例です。



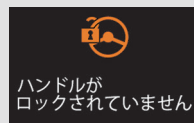
- いずれかのドアおよびテールゲートが完全に閉められていません。開いているドアが表示されています。



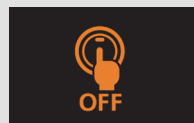
- ハンドルがロックされています。



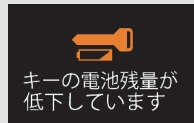
- セレクターレバーが P 以外の位置にあるときにエンジン停止操作をしています。



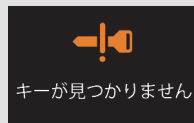
- ハンドルがロックされていない状態で運転席ドアが開いています。



- エンジンスイッチの電源モードが OFF 以外の状態のときに運転席ドアが開いています。
- エンジンスイッチの電源モードが OFF 以外の状態のときに、すべてのドアおよびテールゲートを施錠しようとしています。



- キーレスオペレーションシステムに何らかの異常が発生しています。



- キーが見つかりません



- キーが車室内にあります

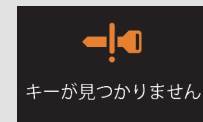


- いずれかのドアが開いています



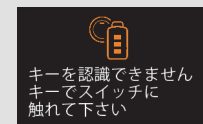
- キーレスオペレーションシステム点検

エンジンスイッチが1回押されたとき



- キーが見つかりません

エンジンスイッチが2回以上押されたとき



- キーを認識できません
キーでスイッチに触れて下さい

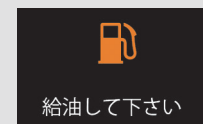
- エンジンスイッチが押されましたが、キーレスオペレーションキーを検知できません。



- ライト類を消し忘れています。



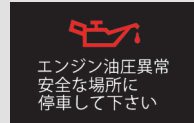
- 運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチの電源モードを ON にしています。



- 燃料の残量が少なくなっています。



- パーキングブレーキをかけたまま走行しています。



- エンジンオイルの循環システムに何らかの異常が発生しています。



- 車外温度が0 °C (32 °F) 以下になっています。

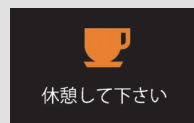


- エンジン始動時にセレクターレバーが P または N 以外にあるか、ブレーキペダルが踏まれずにエンジンスイッチが押されています。

- エンジンスイッチにキーレスオペレーションキーを接触させたときに、正常にキーが検知されたため、エンジンの始動が可能になった状態です。

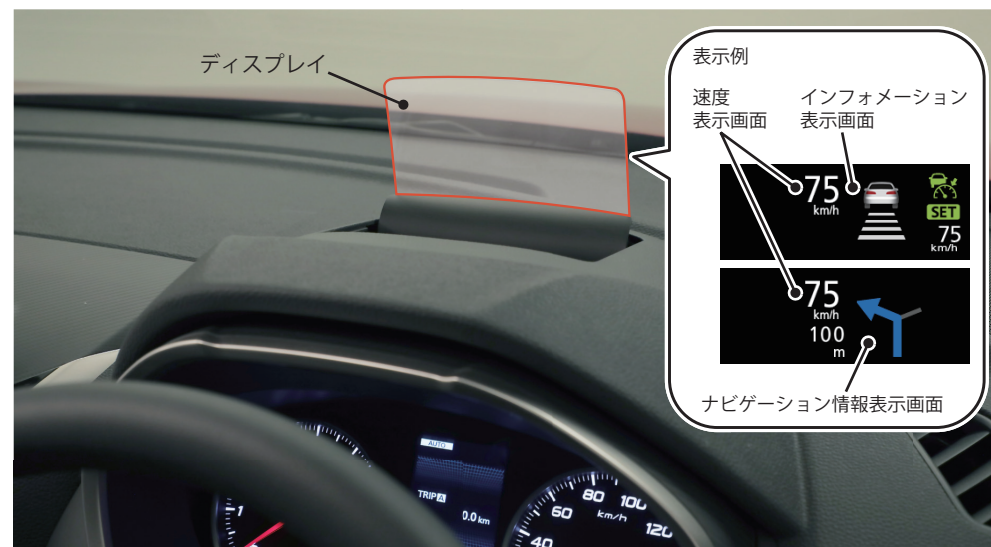


- 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

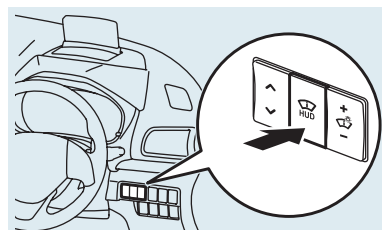


- 休憩までの時間を設定することができます。安全な場所に停車し、エンジンを止めて休憩してください。

- 運転中に前方を見ながらメーターの情報（速度表示、ナビゲーション情報表示など）を透明なディスプレイで確認することができます。
- ディスプレイに表示される情報の種類については、取扱説明書4章「運転するときは」の「ヘッドアップディスプレイ [HUD]」をお読みください。



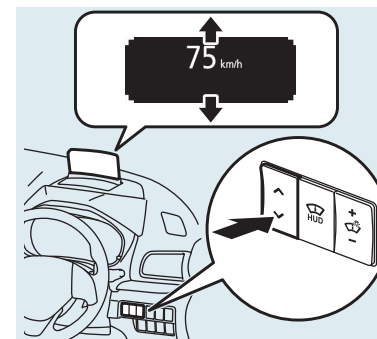
ディスプレイを展開／格納するときは



エンジンスイッチの電源モードが ON のときに、 スwitchを押すとディスプレイが展開されます。

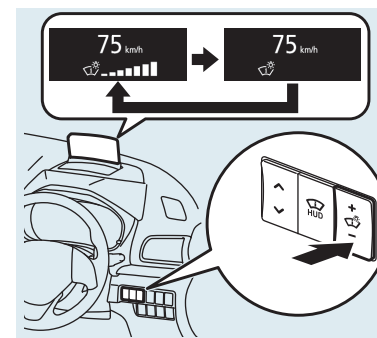
ディスプレイが展開しているときに、 スwitchを押すとディスプレイが格納されます。

ディスプレイの角度を調整するときは



ディスプレイが展開しているときに、 スwitchの $\wedge$ または $\vee$ を押すと、ディスプレイの角度が調整され、情報の表示位置が上下に変化します。

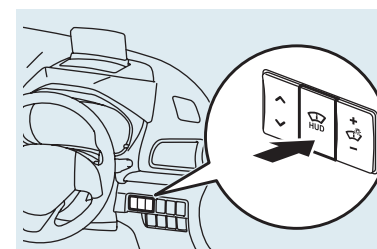
ディスプレイの照度を調整するときは



ディスプレイが展開しているときに、 スwitchの $+$ または $-$ を押すことによりディスプレイの照度が変わります。

車幅灯の点灯・消灯に応じて、夜用・昼用の照度をそれぞれ16段階ずつ調整することができます。

ナビゲーション情報表示画面を切り換えるときは



三菱マルチコミュニケーションシステム [MMCS] 付き車は、停車しているときにナビゲーション情報の表示を ON（表示）または OFF（非表示）に設定することができます。

ディスプレイが展開しているときに、 スwitchを押すと設定案内画面が表示されます。設定案内画面で スwitchを長押しすると、ナビゲーション表示設定画面に切り換わります。

● e-Assist とは、各種センサーによって事故の危険を検知して運転者に知らせるとともに、できる限り事故被害を予防・回避・軽減できるよう支援する安全技術です。

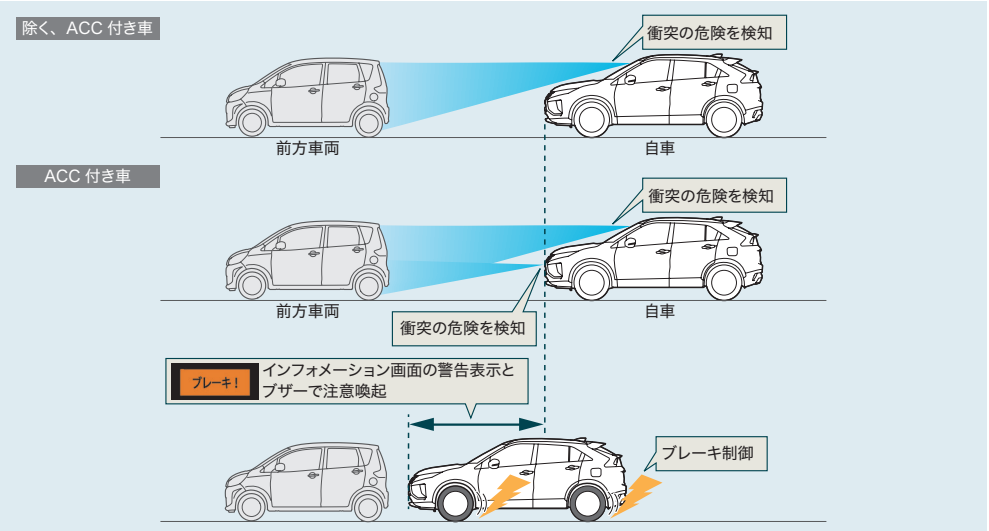
e-Assist の各機能について

- ▶ 検知性能、制御性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
- ▶ 状況によっては作動しない場合があります。また、ご注意いただきたい項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。
- ▶ 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] は、二輪車、自転車、壁などは作動対象ではありませんが、状況によって作動する場合があります。
- ▶ レーダークルーズコントロールシステム [ACC] は、前方車両に対して作動します。二輪車、歩行者などは作動対象ではありませんが、状況によって作動する場合があります。
- ▶ 後側方車両検知警報システム [BSW] および後退時車両検知警報システム [RCTA] は、小型の二輪車や自転車に対して作動しない、または作動が遅れることがあります。
- ▶ ご不明な点は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]

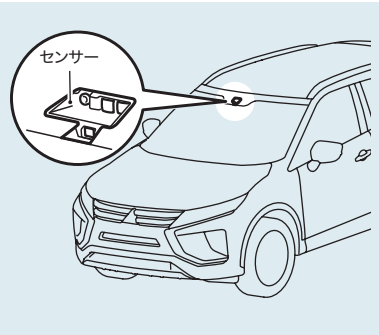
センサーを使用して自車が走行する車線上の前方車両や歩行者との相対速度、相対距離を測定し、衝突する危険性があると判断したときに、インフォメーション画面の警告表示とブザーで注意を促し、場合によってはブレーキ制御を自動的に作動させて、衝突被害を軽減または衝突を回避します。

ブレーキ制御の作動する车速	
除く、ACC 付き車	ACC 付き車
▶ 車両に対して：約5 ～ 80km/h	▶ 車両に対して：約5 ～ 180km/h
▶ 歩行者に対して：約5 ～ 65km/h	▶ 歩行者に対して：約5 ～ 65km/h

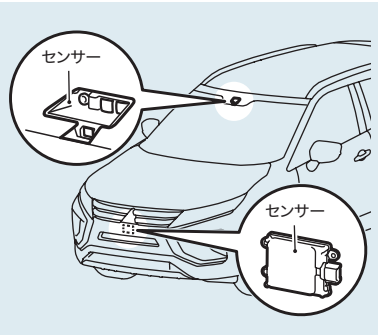


センサーの位置

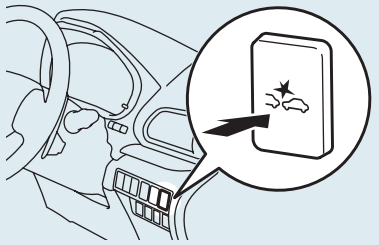
除く、ACC 付き車
センサーはフロントガラス上部にあります。



ACC 付き車
センサーはフロントガラス上部とフロントバンパーの内側にあります。



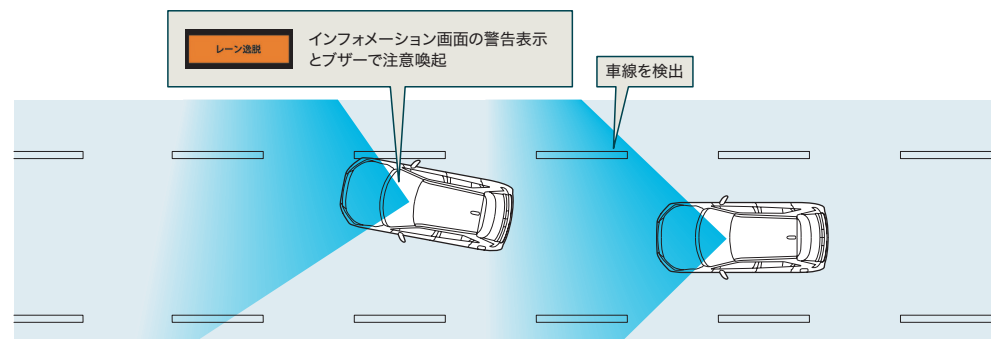
FCM の ON/OFF 作動切り換え



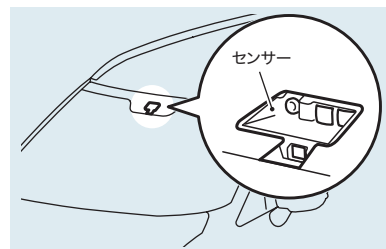
エンジンスイッチの電源モードを ON にすると、自動的に FCM は ON になります。OFF にしたいときはスイッチを押します。FCM の ON/OFF は誤発進抑制機能の ON/OFF に連動して切り換わります。FCM が ON のときにスイッチを短く押すと、衝突警報タイミングの切り換えができます。

》車線逸脱警報システム [LDW]

センサーで走行車線（レーン）を認識し、走行車線を逸脱しそうな状況において、インフォメーション画面の警告表示とブザーで注意を促します。

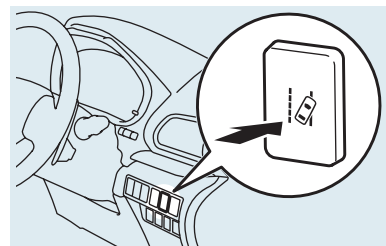


センサーの位置



センサーはフロントガラス上部にあります。

LDW の ON/OFF 作動切り換え

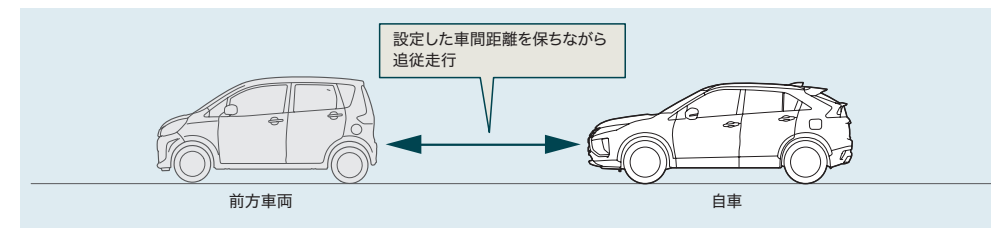


LDW スイッチを押すと LDW 表示灯が消灯し、システムが OFF になります。システムを ON にしたいときはもう一度スイッチを押します。

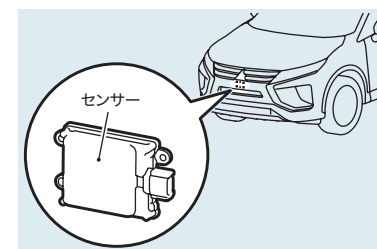
- ・工場出荷時は LDW の設定は ON になっています。
- ・エンジンスイッチの電源モードを OFF にしてもシステムの作動状態 (ON または OFF) を記憶しています。

》レーダークルーズコントロールシステム [ACC]

アクセルペダルを踏まなくても設定した車速で走行するとともに、センサーを使用して前方車両との相対速度、相対距離を測定し、4段階から任意に設定した車間距離を保ちながら追従走行します。前方車両に追従して停止した際は、停止状態を保持します。高速道路や自動車専用道路での運転を快適にするための運転支援システムです。

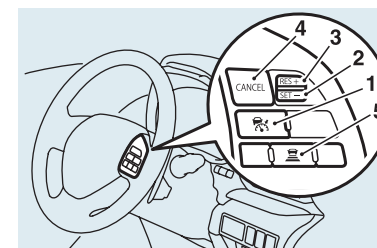


センサーの位置



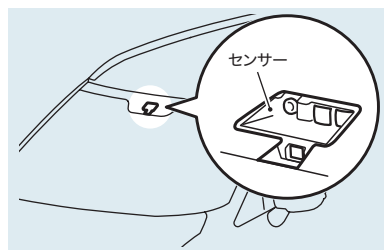
センサーはフロントバンパーの内側にあります。
センサーは衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] と兼用しています。

システムの作動切り換え



- 1- ACC ON/OFF スイッチ
ACC またはクルーズコントロールを ON/OFF します。
- 2- SET - スイッチ
希望する速度に設定したり、設定した速度を下げたりするときに使用します。
- 3- RES + スイッチ
一度設定した速度で動作させたり、設定した車速を上げたりするときに使用します。
- 4- CANCEL スイッチ
ACC またはクルーズコントロールの制御をキャンセルするときに使用します。
- 5- ACC 車間設定スイッチ
前方車両との車間距離の設定を変更するときに使用します。

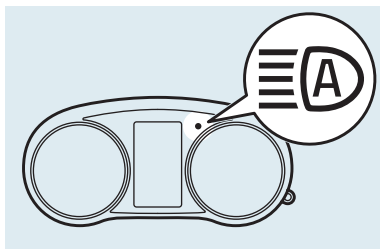
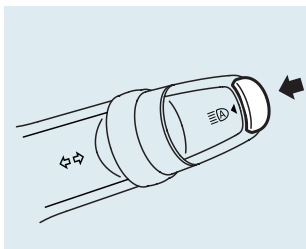
≫ オートマチックハイビーム [AHB]



センサーにより、先行車または対向車のランプや街路灯などの明るさを検知して、ヘッドライトが上向き（ハイビーム）のときに、下向き（ロービーム）への切り換えや、上向き（ハイビーム）への復帰を自動的に行います。

使い方

- 1 電源モードが ON のとき、ライトスイッチを または AUTO の位置にします。
ライトスイッチを AUTO の位置にしているときは、ヘッドライトが点灯しているときのみ、AHB が作動します。
- 2 AHB スイッチを押してシステムを ON にすると、メーター内の表示灯が点灯します。
スイッチをもう一度押すとシステムが OFF になり、メーター内の表示灯が消灯します。



- 3 AHB は次の条件で作動します。

ハイビームとロービームの自動切り換え条件

- 次の条件をすべて満たしたときに、ハイビームが点灯します。
 - ▶ 自車の速度が約30km/h 以上のとき
 - ▶ 車両の前方が暗いとき
 - ▶ 先行車または対向車がない、またはランプを点灯していないとき
- 次の条件のいずれかのときは、ロービームが点灯します。
 - ▶ 自車の速度が約25km/h 以下のとき
 - ▶ 車両の前方が明るいとき
 - ▶ 先行車または対向車がランプを点灯しているとき

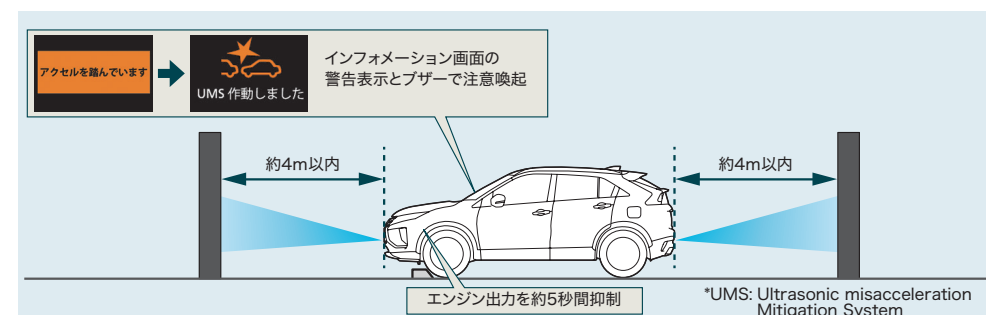
※ 状況によっては、ハイビームとロービームが自動的に切り換わらない場合があります。
詳細については別冊の「取扱説明書」をお読みください。

≫ 誤発進抑制機能（前進&後退時）

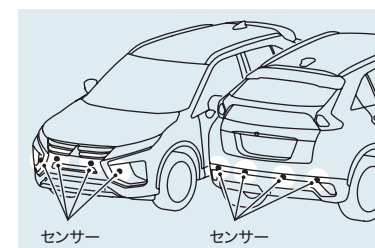
センサーが前方または後方の車両や障害物を検知している状態で、ペダルの踏み間違いなどによりアクセルペダルが素早く、かつ必要以上に踏み込まれると、インフォメーション画面の警告表示とブザーで注意喚起するとともに、エンジン出力を約5秒間抑制して衝突被害を軽減します。

作動条件

- ▶ 停車～約10km/h での走行時
- ▶ 進行方向（約4m 以内）の障害物を超音波センサーで検知しているとき
- ▶ アクセルペダルを素早く、必要以上に踏み込んだとき
- ▶ 運転者がハンドルを切るなどの回避行動をしていないとき
- ▶ セレクターレバーが **P** または **N** 以外の位置のとき

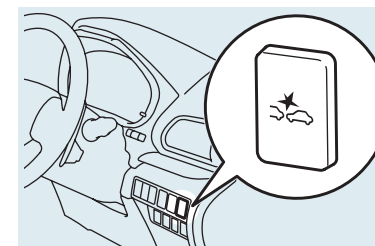


センサーの位置



フロントバンパーとリアバンパーに各4箇所ずつセンサーがあります。
センサーはパーキングセンサー（フロント/リア）と兼用しています。

誤発進抑制機能の ON/OFF 作動切り換え



エンジンスイッチの電源モードを ON にすると、自動的に誤発進抑制機能は ON になります。また、誤発進抑制機能の ON/OFF は、衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] の ON/OFF 状態に連動して切り換わります。

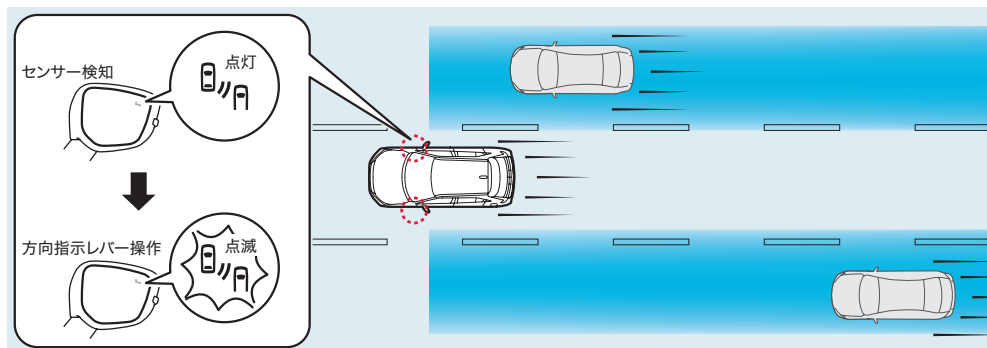
≫ 後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA]

自車の斜め後方を走行している車両をセンサーが検知すると、ドアミラー鏡面にある警告灯が点灯します。この状態で警告灯が点灯している側に方向指示レバーを操作すると、警告灯が点滅すると同時にブザーが鳴って運転者に危険を知らせます。

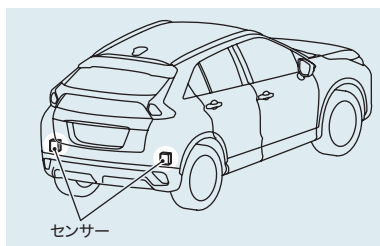
また、隣接車線の後方（最大で約70m）から、自車に接近している他車をセンサーが検知したときにも、同様に運転者に危険を知らせます。（レーンチェンジアシスト機能）

作動条件

- ▶ エンジンスイッチの電源モードが ON のとき
- ▶ セレクターレバーが **P** または **R** 以外の位置にあるとき
- ▶ 車速が約10km/h 以上のとき

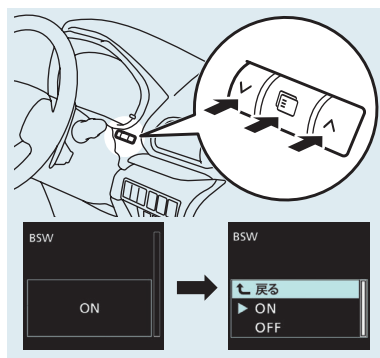


センサーの位置



リアバンパーの内側に2つのセンサーがあります。センサーは後退時車両検知警報システム [RCTA] と兼用しています。

システムの ON/OFF 作動切り換え

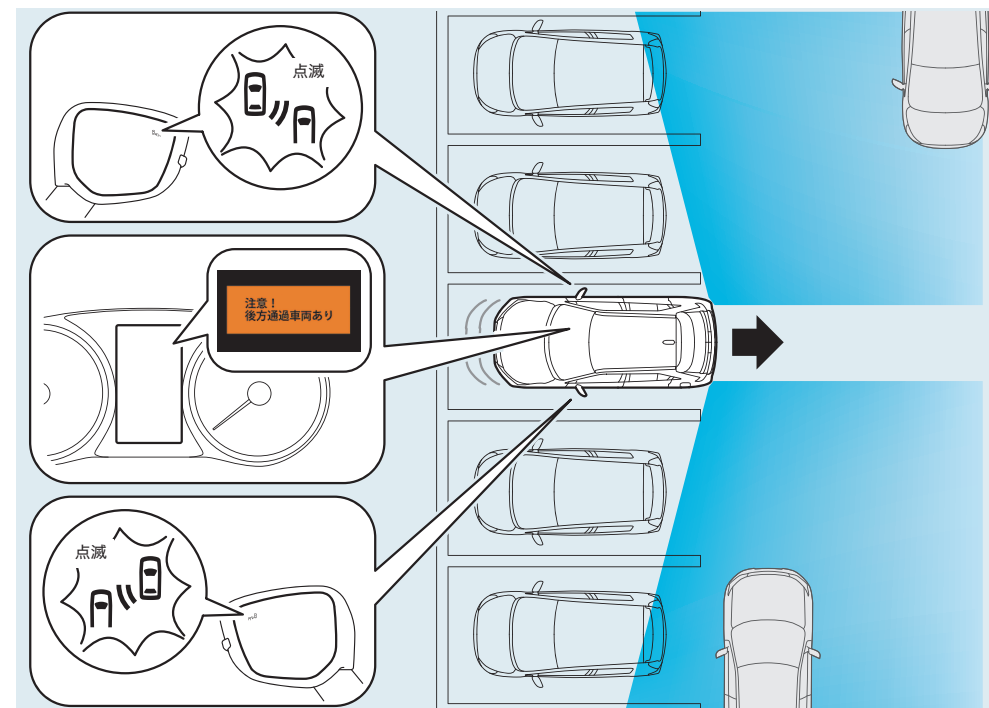


マルチインフォメーションディスプレイスイッチを押して、インフォメーション画面で「BSW」の「ON」または「OFF」を選択すると、BSW の作動を切り換えることができます。

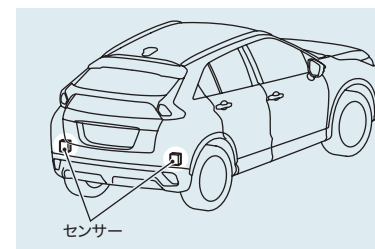
BSW の ON/OFF に連動して、後退時車両検知警報システム [RCTA] の ON/OFF も同時に切り換わります。

≫ 後退時車両検知警報システム [RCTA]

後退時に左右から自車に接近している車両をセンサーが検知すると、ドアミラー鏡面にある警告灯が点滅し、ブザーが鳴って運転者に危険を知らせます。同時にインフォメーション画面に警告を表示します。



センサーの位置



リアバンパーの内側に2つのセンサーがあります。センサーは後側方車両検知警報システム [BSW] と兼用しています。

システムの ON/OFF 作動切り換え

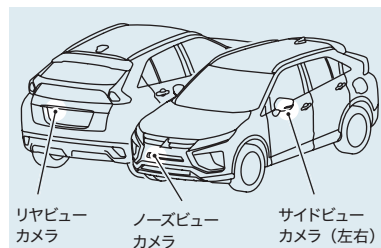
- 1 インフォメーション画面の機能設定画面で、「BSW」の「ON」を選択して、後側方車両検知警報システム [BSW] を ON にします。

RCTA の作動状態 (ON または OFF) は、BSW と連動して切り換わります。

本書の29ページも併せてお読みください。

- 2 セレクターレバーを **R** にするとシステムが作動します。

》マルチアラウンドモニター

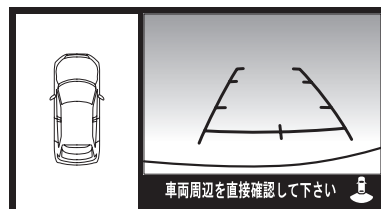


マルチアラウンドモニターは「ノーズビューカメラ」、「サイドビューカメラ（左右）」および「リアビューカメラ」の4つのカメラの映像を組み合わせ、スマートフォン連携ディスプレイオーディオまたは三菱マルチコミュニケーションシステム [MMCS] に映像を表示させる装置です。駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

使い方

【バードアイビュー／リアビュー表示】

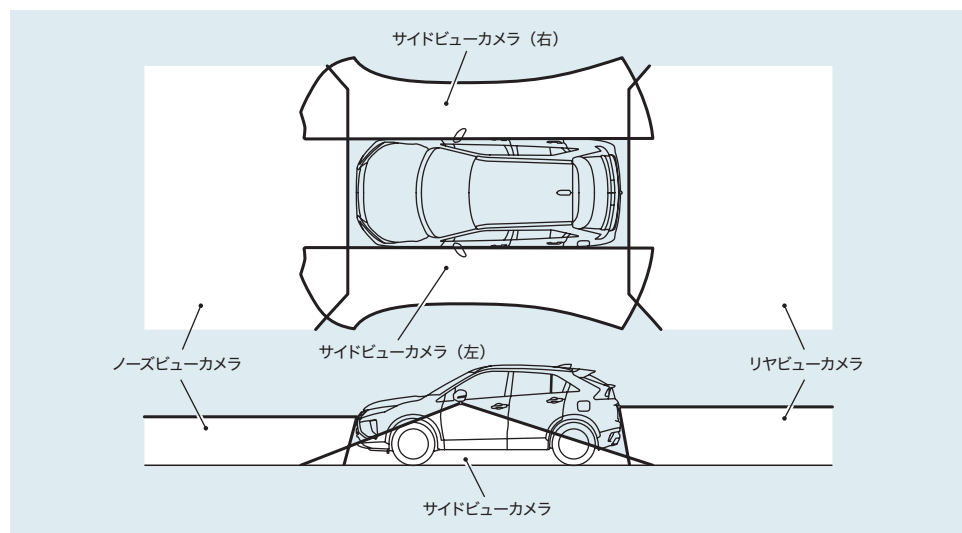
車両周囲および車両後方を表示



エンジンスイッチの電源モードが ON の状態のときにセレクトレバーを **P** に入れると、バードアイビュー／リアビューの映像が自動的に表示されます。セレクトレバーを **P** 以外の位置にすると、元の画面に戻ります。

画面に表示できる範囲

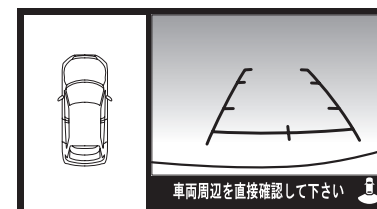
カメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。また、前後バンパーの両端や下部などは表示できませんので、必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。



画面に表示できる映像の種類

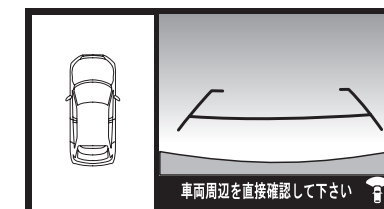
【バードアイビュー／リアビュー表示】

車両周囲および車両後方を表示



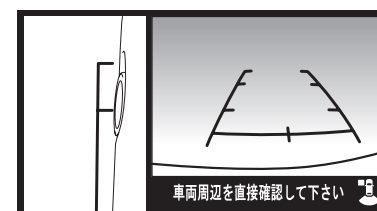
【バードアイビュー／ノーズビュー表示】

車両周囲および車両前方を表示



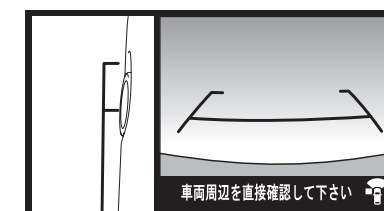
【サイドビュー／リアビュー表示】

助手席側車両側方および車両後方を表示

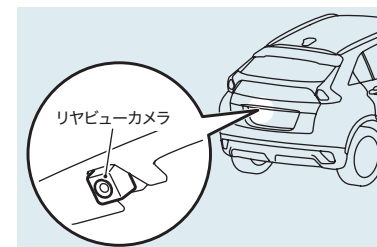


【サイドビュー／ノーズビュー表示】

助手席側車両側方および車両前方を表示



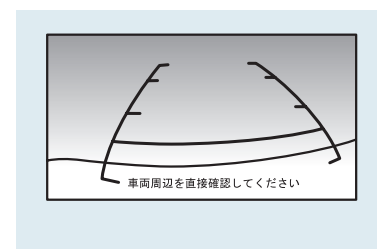
》リアビューカメラ



リアビューカメラは、車両後方の映像を三菱マルチコミュニケーションシステム [MMCS] の画面に表示させる装置です。

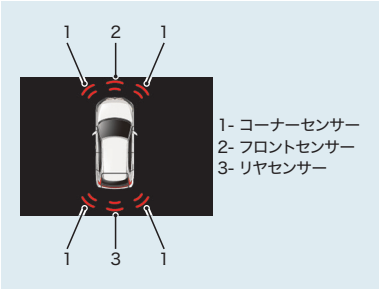
使い方

【車両後方を表示】



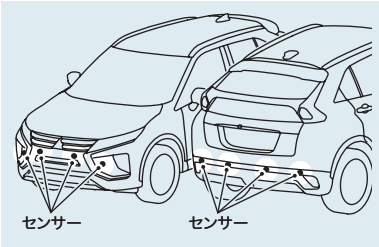
エンジンスイッチの電源モードが ON の状態のときにセレクトレバーを **R** に入れると、車両後方の映像が自動的に表示されます。セレクトレバーを **R** 以外の位置にすると、元の画面に戻ります。

》パーキングセンサー（フロント／リヤ）



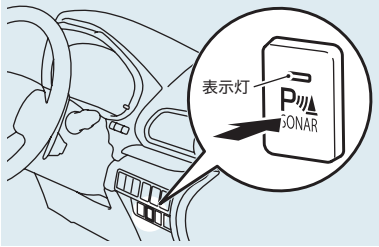
車庫入れや縦列駐車などのときに、車両周辺の障害物を検知すると、障害物の位置とおおよその距離をインフォメーション画面の表示とブザーで運転者に知らせ、注意を促します。

センサーの位置



フロントバンパーとリヤバンパーに各4箇所ずつセンサーがあります。
センサーは誤発進抑制機能と兼用しています。

システムの ON/OFF 作動切り換え



電源モードを ON にすると、自動的に ON になります。OFF にしたいときはスイッチを押します。OFF にした場合、スイッチ内の表示灯が消灯します。